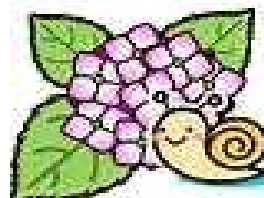


でんでんむし



4月 4月ですね。



さあ、4月。春の陽気と共に、本年度がスタートしました。子育て支援センター“でんでんむし”も、3年目を迎え、この間にのべ18,069名のみなさんにご利用いただきました。本当にありがとうございました。さてこの4月から、新たな



スタッフも加わり、2019年度がスタートしました。新しいスタッフは子育て中の方もあれば、子どもは就職し自立しているという方もいます。どのスタッフも子どもとの関わりのある仕事をされた方ばかりのベテラン揃いです。今年度も、みなさまにとって居心地がよく、楽しく、安心できる“でんでんむし”でありたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

～子育て支援センター「でんでんむし」のスタッフ“チームでんでん”の紹介～



センター長
今泉



スタッフ
青木



スタッフ
山内



スタッフ
稲益



スタッフ
永野



スタッフ
七條



スタッフ
柿塚



スタッフ
山口

“チームでんでん”をよろしくお願ひしま～す！！

『子育てワンポイントアドバイス』～新生児や赤ちゃんのしゃっくりは成長の一環～

生後1歳くらいまでは、しゃっくりが多く出るのは自然な現象です。特に新生児期はうまく母乳やミルクを飲むことができず、げっぷも上手にできないので、しゃっくりが出やすい時期です。成長するにつれて回数も減っていくものと思って、見守ってあげましょう。ママに余裕があるときは、背中をさすってあげたり、抱っこしてあげたりして、優しく接しながら、様子をみてあげると良いですね。



～子育て支援センター「でんでんむし」の3月のイベントから～

「ひなまつり」 1日(金)

1日はひなまつり。お子さんの健やかな成長を願って、千代紙や色紙、シールを使い、親子で一緒に、ひな飾りを作りました。おみやげは、ひなお菓子でした。参加者からは「親子で楽しい時間を過ごすことができました。」と好評でした。

第4回「赤ちゃん広場」14日(木)

今回は、子どものお手伝いメニューをテーマに親子で肉まん・だご汁作りをしました。肉まんは、子どもたちが生地をこねたり丸めたりしながら肉あんを包み、だご汁では、キャベツや団子生地を一口サイズにちぎったり、ニンジンの型抜きをしたりなど、楽しく参加できました。親子で一緒に作ることで子どもたちは食べる楽しさや自信をもってくれたようです。

子育て講話「子どもの笑顔は宝物」7日(木)

講話の中で、「ママはゆったりとする時間も必要。」「ママべったりは“心の貯金”である。」「ママはいつでも子どもが戻れる“心の基地”である。」が心に残りました。また子どもと一緒に手遊びや読み聞かせなど、楽しいひとときでした。

今月のメニュー

4日 10:30～「ママカフェ」
16日 10:30～「お誕生日おめでとう」
25日 10:30～ 子育て講話

・講師:ひしのみこども園 副園長 宮津百合江先生
※全ての講座、イベントで託児あります。
☆連絡先多久市児童センター内「子育て支援センター」☆
[Tel 0952-37-1117](みんな・いっしょに・いっいな)